

## 学会員（教員）研究動向〔2003.4～2004.3〕

名前	種別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
秋葉 武	論文(単著)	「『つながり』からの『専門性』」(播磨靖夫編『生命の樹のある家 進化するNPO 深化するNPO』財団法人たんぼぼの家)205-208頁	2003.9
	論文(単著)	「非営利組織(NPO)の組織間協働」(日本経営診断学会編『経営診断の社会性を考える 資源・環境を意識して』(日本経営診断学会論集)，同友館)54-64頁	2003.10
	論文(単著)	「無認可共済の台頭と共済事業の課題 難病患者・NPO・無認可共済から見てくるもの」(『共済と保険』第45巻第12号，(社)日本共済協会)24-29頁	2003.12
	論文(単著)	「地方自治体のNPO支援施策・事業委託とガバナンス」(『地方自治職員研修』第37巻通巻510号，公職研)240-246頁	2004.3
	学会発表(単独)	「インターンシップ教育における現状と課題」(日本インターンシップ学会第4回全国大会(於：明治大学))	2003.6
	学会発表(単独)	「共済事業における社会性」(日本経営診断学会第36回全国大会個別報告(於：近畿大学))	2003.10
	講演	「市民社会における，NPOの使命と戦略的マネジメント」(駐大阪・神戸アメリカ総領事館 関西アメリカン・センター，関西国際交流団体協議会主催)	2003.10
	講演(単独)	「インターンシップの現状と課題」(大阪大学大学院経済学研究科主催)	2003.12
	その他(辞典執筆)	担当用語：「寄付の文化」「協同組合」「CBO」「CDC」「資金提供者」「助成金」「助成財団センター」「募金」「まちづくりセンター」(大阪ボランティア協会編『ボランティア・NPO用語辞典』中央法規出版)	2004.3
荒木 穂積	論文(単著)	「21世紀のアジアに生きる障害を持つ子どもたちの希望」(日本ベトナム障害児教育・福祉研究，第1号，日本ベトナム友好障害児教育・福祉セミナー実行委員会，文理閣)3-6頁	2003.7
	論文(単著)	「国際的視点から見た発達保障の動向」(『障害者問題研究』第31巻第2号，全国障害者問題研究会出版部)39-48頁	2003.8
	論文(共著)	「ベトナムにおける第2期障害児教育専門教員養成プロジェクト 市民の国際連帯活動からODA事業へ」(『胎動するベトナムの教育と福祉 ドイモイ政策下の障害者と家族の実態』黒田学・向井啓二・津止正敏・藤本文朗編，文理閣)229-239頁	2003.6
	学会発表(共同)	「マインド・リーディングの発達の研究(2) 感情認知の発達について」(日本応用心理学会第70回大会発表論文集，日本応用心理学会第70回大会，9月5日～6日，流通科学大学)36頁	2003.9
有賀 郁敏	論文(単著)	「国民社会主義統治下の余暇・スポーツ KdFとSA」(『現在のナショナリズム 哲学的な解読』青木書店)189-207頁	2003.11
	論文(単著)	「アソシエーションの歴史と現代の公共圏」(『<方法>としての人間と文化』ミネルヴァ書房)132-150頁	2004.3

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
有賀 郁敏	論文(単著)	「オリンピック Olympic games」(『グローバル化を読み解く88のキーワード』平凡社) 55-57頁	2003.4
	その他	「19世紀ドイツの協会組織に見られる<個と共同性>について」(『公共研会報』第5号, 立命館大学衣笠総合研究機構プロジェクト「公共研」) 1-12頁	2003.12
生田 正幸	その他(監修)	「インターネットサーチニュース」(『月刊福祉』2003年5月号~2004年4月号 全国社会福祉協議会)	2003.4 ~ 2004.3
	その他(監修)	「インターネットサーチレポート」(『月刊福祉』2003年5月号~2004年4月号 全国社会福祉協議会)	2003.4 ~ 2004.3
佐藤 春吉	論文(単著)	「人間と文化を考えるために」(佐藤嘉一編著『<方法>としての人間と文化』序章 ミネルヴァ書房) 1-23頁	2004.3
池内 靖子	論文(単著)	「近代と女性の表象 日本における『人形の家』の上演と批評言説」(『演劇人』第14号(財)舞台芸術財団演劇人会議) 80-88頁	2003
	シンポジウム報告	「セックスワークの脱神話化? リジー・ボーデンの映画『ワーキング・ガールズ』を中心に」(『立命館言語文化研究』第15巻1号 立命館大学国際言語文化研究所) 13-20頁	2003.6
	解題	「批評・解釈の政治学 テレサ・ハッキョン・チャの回顧展『観客の夢』(コンスタンス・M・ルウォレン著「テレサ・ハッキョン・チャ 彼女の時代と場所」[共訳:池内靖子・北原恵]の解説として)」(『インパクション』136号 インパクト出版会) 114-118頁	2003.6
	翻訳(単訳)	『ディクテ』(青土社) 総頁211頁	2003.6
	国際シンポジウム	「Translation of/Postscript for Theresa Hak Kyung Cha 's Dictée」(Symposium on Theresa Hak Kyung Cha's exhibition: held at Ssamzie Space in Seoul, Korea)(海外)の招待パネリスト	2003.9
文 楚雄	研究ノート(単著)	「中国語のことばと文化・社会(一)」(『立命館産業社会論集』第39巻2号) 115-134頁	2003.9
	研究ノート(単著)	「中国語のことばと文化・社会(二)」(『同上』第39巻3号) 137-150頁	2003.12
	研究ノート(単著)	「中国語のことばと文化・社会(三)」(『同上』第39巻4号) 171-183頁	2004.3
遠藤 保子	論文(共著)	「動作分析にみる鹿児島県奄美群島の表現特性」共同研究者:高橋京子, 小島一成, 八村広三郎(社団法人 情報処理学会IPSJ『人文科学とコンピュータシンポジウムSymposium Series』Vol. 2003 No.21 情報処理学会) 71-78頁	2003.12
	翻訳(単著)	「Dancing with Musical Examples」(『立命館経済学』第52巻第5号 立命館大学経済学会) 90-105頁	2004.3
	著書(単著)	「身体表現の世界」(佐藤嘉一編著『<方法>としての人間と文化』ミネルヴァ書房) 98-111頁	2004.3

名 前	種 別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
遠藤 保子	その他 (単著)	「東アフリカのパフォーマンス ケニアを事例として」(『さんしゃ Zapping』Vol.XVII No.3(通巻131号)立命館大学産業社会学会)47頁	2003.12
	その他 (単著)	「新しいユースサービスを目指して」(『ヤングプラザ』2月号巻頭言，社団法人全国勤労青少年ホーム協議会，東京)冒頭頁	2004.2
	その他 (単著)	『2003年度 国際交流基金助成事業ケニア民族舞踊団日本公演事業 Giriama Dance Troupe Japan Tour 2003』(パンフレット エチオピア アート日本委員会委員長：遠藤保子)全7頁	2003.10
	報告書 (共著)	『スタジオ・アトリエ探訪記』全89頁(演習「パフォーマンスと社会」報告集 先進的教育支援助成による出版)全89頁	2004.2
	学会発表 (単独)	「ナイジェリア国立劇場と国立舞踊団」(日本体育学会第54回大会於：熊本大学 口頭発表及び座長)	2003.9
大山 博史	論文(単著)	「第 部 疾病予防 第15章 生活習慣病の疫学と予防 7節 精神疾患・自殺」(『スタンダード食物・栄養シリーズ1.人と健康』東京化学同人)162-172頁	2003.9
	論文(単著)	「医学一般 第5章 現代社会と疾病 5 精神疾患，6 神経疾患，7 難病，8 障害に関係の深い疾患群」(『社会福祉士のための基礎知識』中央法規出版)229-238頁	2003.12
	著書(単編著)	「医療・保健・福祉の連携による高齢者自殺予防マニュアル」(診断と治療社)	2003.10
岡田 まり	論文(共著)	「社会福祉の国際動向：2 先進国型社会福祉2 アメリカ合衆国」(岩田正美・武川正吾・長岡正己・平岡公一編『社会福祉の原理と思想』有斐閣)268-274頁	2003.7
	学会発表 (共同)	「精神障害者のQOL」(日本精神障害者リハビリテーション学会第11回大会 2003.9.25-27，長崎ウエスレヤン大学)	2003.9
	学会発表 (共同)	「精神障害者のQOLとその関連要因」(日本社会福祉学会第51回全国大会 2003.10.11-13，四天王寺国際仏教大学)	2003.10
	学会発表 (共同)	「精神障害者QOLの尺度と関連要因」(日本公衆衛生雑誌 第50巻第10号と特別付録学会総会抄録集 第62回日本公衆衛生学会総会 2003.10.22-24，国立京都国際会館)329頁	2003.10
	学会発表 (共同)	「Needs for supportive supervision among care managers in Japan.」(Geriatrics Gerontology International, Vol.3, Suppl.1. Book of Abstracts.The 7 <sup>th</sup> Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology. 2003.11.24-28. 東京国際フォーラム)	2003.11
小川 栄二	論文(単著)	「高齢者自殺への介入 高齢者福祉における訪問援助」(大山博史編著『医療・保健・福祉の連携による高齢者自殺予防マニュアル』診断と治療社)113-129頁	2003.10
	調査報告 (共著)	「京都市上京区における見守りと支援を必要とする高齢者と民生児童委員の活動にかんする調査報告」(立命館大学人間科学研究所学術フロンティア推進事業「対人援助に関する『人間環境デザイン』の総合研究」福祉情報プロジェクトサブプロジェクト・孤立高齢者調査チーム)2-21頁，36-42頁，45-49頁	2004.3

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
小川 栄二	調査報告 (共著)	「京都市上京区における見守りと支援を必要とする高齢者と老人福祉員の活動にかんする調査報告」(立命館大学人間科学研究所学術フロンティア推進事業「対人援助に関する『人間環境デザイン』の総合研究」福祉情報プロジェクトサブプロジェクト・孤立高齢者調査チーム) 2-16頁, 27-30頁, 32-35頁	2004.3
小澤 亘	論文(単著)	「ボランティアと市民社会」(佐藤嘉一編著『<方法>としての人間と文化』ミネルヴァ書房) 151-168頁	2004.3
景井 充	論文(単著)	「アイデンティティの行方」(佐藤嘉一編著『<方法>としての人間と文化』ミネルヴァ書房) 61-75頁	2004.3
川口 晋一	研究ノート (単著)	「メディアスポーツとどう向き合うか スポーツ社会学で今問題になっていること」(『たのしい体育・スポーツ』No.165, 学校体育研究同志会) 44-45頁	2004.3
木田 融男	著書(共編著)	浪江巖・木田融男・平澤克彦・守屋貴司編『変容期の企業と社会 現代日本社会の再編』(八千代出版) 284頁	2003.4
	論文(単著)	「日本企業社会の変容」(『同上』所収) 3-15頁	2003.4
草深 直臣	論文(単著)	「(スポーツ・シンボル) 説の検討 スポーツ哲学とスポーツ社会学の間」(『立命館経済学』第52巻第5号立命館大学経済学会)	2003.12
坂本 利子	学会発表	「日英語交流授業における異文化コミュニケーション教育としてのディベート」(日本コミュニケーション学会全国大会 日本コミュニケーション学会第33回年次大会)	2003.6
櫻谷真理子	論文(単著)	「今日の子育て不安・子育て支援を考える」(『立命館大学人間科学研究』第7号 立命館大学人間科学研究所) 75-86頁	2004.3
	その他(単著)講演のレジュメを冊子にしたもの)	「子ども虐待と子育て支援」(『人間発達講座第5回 心をことばの翼にのせて』人間発達研究所) 90-98頁	2004.1
	その他	「今親の不安は何なのか～現状を知ることから始まる子育て支援～」(『子育てでつながろう in Kyoto』「子育て」でつながろう in Kyoto 実行委員会事務局) 11-15頁	2004.1
	学会発表 (単独)	「保育者からみた気になる子どもの育ちと養育の実態(その1) 子育て不安・虐待に関するアンケート調査から」(日本教育心理学会第45回総会発表論文集 日本教育心理学会準備委員会) 125頁	2003.7
芝田 英昭	論文(単著)	「社会保険一元化構想をどう見るか」(『賃金と社会保障』第1346号, 旬報社) 4-14頁	2003.5
	論文(単著)	「社会保障改革の現局面と運動の課題」(『月刊全労連』第82号, 全国労働組合総連合) 8-16頁	2003.11

名 前	種 別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
芝田 英昭	論文(単著)	「助け合いのまちづくり」(『若狭鯖街道熊川宿まちづくりフォーラム』第9号，福井県上中町教育委員会) 29-44頁	2004.1
	論文(単著)	「国保崩壊＝皆保険の危機をどう乗り越えるか」(『京都保険医新聞』第2414号付録，京都府保険医協会) 23-34頁	2004.1
	論 説	「社会保障を崩壊させる『国民保険』構想」(京都新聞，2004年2月27日号，京都新聞社)	2004.2
	著書(編著)	『社会保障の基本原則と将来像』(法律文化社，2004年3月) 190頁	2004.3
鈴木みどり	編 著 書	『Study Guide メディア・リテラシー [ジェンダー編]』(リベルタ出版)	2003.4
	制 作 監 修	『スキミング・テレビジョン日本版』(ビデオパッケージ)(イメージサイエンス社)	2003.4
	論文(単著)	第3章「情報化社会：デジタル・デバイドを中心に」(井上真理子・佐々木嬉代三・田島博実・時井聡・山本努編『社会病理学講座第2巻 欲望社会 マクロ社会の病理』学文社) 55-72頁	2003.6
	論文(単著)	「第11回日韓国際シンポジウム『イラク戦争とジャーナリズム』第4部 討論とパネル・ディスカッション」(『マス・コミュニケーション研究』64号 日本マス・コミュニケーション学会) 178-192頁	2004.1
	調 査 報 告 (共著)	「検証 メディア報道の報道：新聞のイラク戦争報道分析」(『fact GAZE-TTE』80号 FCT市民のメディア・フォーラム) 2-14頁	2003.7
	講演(単独)	「Global Media Monitoring Project 2005 Consultation Meeting Cape Town, May 6-10, 2003」	2003.6
	講演(単独)	「メディア・リテラシーの現在と未来」(兵庫県立男女共同参画センター主催第 期男女共同参画アドバイザー養成塾第3回講座)	2003.8
	講演(単独)	「メディアと人権 メディア・リテラシーのアプローチから」(京都府教育委員会主催「京都府人権教育指導者研修会」)	2003.8
	講演(単独)	日本マス・コミュニケーション学会主催日韓国際シンポジウム「イラク戦争とジャーナリズム」第4部「討論とパネル・ディスカッション」(日本マス・コミュニケーション学会)	2003.9
	講演(単独)	「メディア，人権，メディア・リテラシー」(奈良県教育委員会主催平成15年度奈良県人権教育指導者養成講座)	2003.9
	講演(単独)	「メディア新時代と女性たち」(日本女性会議おおつ2003第7分科会 日本女性会議おおつ2003(滋賀県))	2003.10
講演(単独)	「ジャーナリズムとしてのメディア」(岸和田市女性センター主催「メディア社会を生きる～私たちとメディア・リテラシー～」連続講座第5回)	2003.10	
そ の 他 (単著)	「論考 なぜ，視聴者への謝罪がないのか」(『京都新聞』2003年12月5日朝刊4面 京都新聞社)	2003.12	
高垣忠一郎	共 編 著 書	春日井敏之『不登校支援ネットワーク』(かもがわ出版)	2004.1
高木 正朗	論文(共著)	「飢饉と人口変動 仙台藩・天保期「郡方」「村方」人口の推計」(2003年度文部科学省科学研究費・基盤研究(A)，2003年度立命館大学学内提案公募型プロジェクト研究working paper) 17頁	2003.9

名 前	種 別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
高木 正朗	資料研究 (単著)	「19世紀初頭・東北日本の social survey」と出産調査 一関藩の貧民・村備初・出産調べと救助制度」(2003年度文部科学省科学研究費・基盤研究(A)，2003年度立命館大学学内提案公募型プロジェクト研究working paper) 50頁	2004.3
	古文書目録 (編集)	『陸奥国一関藩領内旧村古文書目録 SDDMA仙台藩・一関藩地方資料〔 〕』(2003年度文部科学省科学研究費・基盤研究(A)，2003年度立命館大学学内提案公募型プロジェクト研究成果刊行物 立命館大学人文科学研究所SDDMA研究会) 165頁	2004.3
高橋 正人	調査報告 (共著)	「京都市における高齢者福祉情報システムの開発 市民のボランティア活力による高齢者問題克服のための福祉情報ネットワークの構築を目指して」文部科学省科学研究費補助金・地域連携推進研究・研究成果報告書・課題番号11791004・研究代業者 中川勝雄)	2003.10
竹濱 朝美	論文(単著)	「タイプ 環境ラベルによる自己適合宣言の課題：エコプロダクツをめぐる適合性評価および情報開示」(平成15年度，科学研究費補助金基盤研究C-2，課題番号14530160による助成研究)(『立命館産業社会論集』，第39巻1号) 41-66頁	2003.6
	論文(共著)	「webサイトによる個人情報の収集に関する説明責任：消費者利益から見たプライバシーポリシーの課題」(門阪裕也との共著『情報問題研究』第15号，情報問題研究会，晃洋書房) 19-37頁	2003.6
	論文(単著)	「グリーン・マーケティングにおける環境製品の表示および情報開示の課題：環境ロゴマークと適合宣言を中心に」(『日本流通学会年報・流通』第16号，日本流通学会) 138-144頁	2003.8
	その他 (単著)	「環境配慮製品の広告表示と環境コミュニケーション：グリーンコンシューマリズムおよび不当表示防止からみた課題」(『平成14年度助成研究集(要旨)』第36次，吉田秀雄記念事業財団) 37-44頁	2003.6
	その他 (単著)	(論考)「トレーサビリティと食品の安全性：社外検査の裏付け望ましい」(『京都新聞』2003.12. 京都新聞社) 4頁	2003.12
	資料紹介 (単著)	「米国連邦取引委員会による環境表示規制」(『立命館産業社会論集』，39巻3号) 185-203頁	2003.12
	学会発表 (単独)	「エコプロダクツをめぐる広告および環境コミュニケーションの課題：自己適合宣言マークの信頼性のために」(日本商業学会)	2003.5
	辻 勝次	論文(単著)	「トヨタマンのキャリア・アンカーと職業生涯 幸運世代のライフストーリー分析」(『立命館大学産業社会論集』第39巻4号) 1-22頁
論文(単著)	「研究の目的，経過と方法」(辻 勝次編『新しい職業能力と職業経歴の動向に関する研究』序章，文科省研究助成(研究代表辻 勝次，課題番号12410065)研究成果報告書) 1-28頁	2004.3	
論文(単著)	「モノ作り」職場の技能形成」(『同上』2章) 72-116頁	2004.3	
論文(単著)	「新しい」動向」(『同上』終章) 310-330頁	2004.3	
学会報告 (単独)	「トヨタマンのキャリア・アンカーとキャリア形成」(日本社会学会一般研究報告 日本社会学会)	2003.10	

名 前	種 別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
津田 正夫	調査報告書 (共著)	「日系コミュニティのテレビ番組・バンクーバー」「カナダのメディア教育をリードするシティテレビ」「移民が語り出すとき～コミュニティ番組の可能性～」(『カナダの市民とメディア～多言語・多文化とともに～』，市民とメディア調査団(カナダ)) 33-34頁，53-54頁，68頁	2004.1
	研究ノート (共著)	「放送における聴覚障害者の情報環境 独立メディア「目で聴くテレビ」を中心に」(『産業社会論集』第39巻3号) 33-52頁	2004.3
	研究ノート (単著)	「地域の未来を創る放送局」(『報道情報じ～んレポート』No.42 TBSネットワーク局) 1頁	2003.12
	単 著	「メディアへのアクセスこそ，最上のリテラシー教育」(『月刊・社会教育』2003年12月号 社会教育情報センター)	2003.12
	そ の 他 (単著)	私の視点「デジタル化 地域・市民番組に開放を」(『朝日新聞』2003.12. 朝日新聞)	2003.11
	シンポジウムでの報告 講演(単独)	「名古屋大学メディアプロフェッショナル講座開設記念シンポジウム「これからのメディアをになう人」」名古屋大学文系総合館 「プライベート・ビデオで変わる社会 自己表現のすすめ」(中海テレビ放送パブリック・アクセスチャンネル番組運営協議会，米子全日空ホテル)	2003.7 2004.3
津止 正敏	著書(共編著)	「子育てサークル共同のチカラ 当事者性と地域福祉の視点から(文理閣)	2003.5
	論文(共著)	「障害のある子どもと家族の放課後・休日の実態 京都障害児家族放課後・休日実態調査から」(『立命館人間科学研究』第7号，立命館大学人間科学研究所) 63-73頁	2004.3
	著 書 (共編著)	『胎動するベトナムの教育と福祉 ドイモイ政策下の障害者と家族の実態』(文理閣)	2003.5
	論文(単著)	「日本における障害児の放課後ケアを巡る現状と課題について」(『日本ベトナム障害児教育・福祉研究 障害児の未来のために』文理閣) 38-42頁	
	著 書 (共編著)	『大学生とボランティア活動 大学ボランティアセンタースタディ』(立命館大学人間科学研究所)	2004.3
出口 剛司	論文(単著)	「ファッションと 私らしさ の文化装置：ファッション人間学試論」(『方法 としての人間と文化』ミネルヴァ書房) 112-127頁	2004.3
仲井 邦佳	学会発表 (単独)	「 <i>También...como</i> correlativo en español medieval y la formación de <i>también</i> independiente」(中世スペイン語における相関詞 <i>también...como</i> と独立の <i>también</i> の形成について) VI Congreso Internacional de Historia de la Lengua Española (第6回国際スペイン語史学会) 2003.9.29～10.3 マドリード・コンプルテンセ大学)	2003.10
中川 勝雄	調 査 報 告 (共著)	「京都市における高齢者福祉情報システムの開発 市民のボランティア活力による高齢者問題克服のための福祉情報ネットワークの構築を目指して」(文部科学省科学研究費補助金・地域連携推進研究・研究成果報告書・課題番号11791004・研究代表者 中川勝雄)	2003.10

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
長澤 克重	調査報告 (共著)	「京都市における高齢者福祉情報システムの開発～市民のボランティア活力による高齢者問題克服のための福祉情報ネットワークの構築を目指して～」(同上)	2003.10
仲間 裕子	著書(共編者)	『美術史をつくった女性たち モダニズムの歩みのなかで』(勁草書房) i-ix頁, 150-177頁	2003.12
	論文(単著)	「ひとつの仮想美術展 世紀の転換期と表象のディスクール」(『<方法>としての人間と文化』ミネルヴァ書房) 78-95頁	2004.3
	発表	「フォーゲラーと『白樺』」(第二回明治文芸講演会)	2003.11
中村 正	論文(単著・ 分担執筆)	「男の子は暴力的なのか 暴力を肯定する生と性を超えて」(天野正子・木村涼子編『ジェンダーで学ぶ教育』世界思想社) 135-152頁	2003.4
	論文(単著・ 分担執筆)	「ドイツにおけるDV加害者対策の概要」(『配偶者からの暴力の加害者更生に関する調査研究』内閣府男女共同参画局) 81-114頁	2003.6
	学会発表 (単独)	「心理学とジェンダー」(第21回日本家族心理学会大会, 日本家族心理学会, 川村女子学園短期大学)	2003.6
	シンポジウム・ 座談会 (共著)	「臨床社会学の可能性」(『アディクションと家族』第20巻第4号 家族機能研究所・日本嗜癮行動学会) 397-411頁	2004.1
	論文(単著・ 分担執筆)	「ドメスティック・バイオレンス」(高原正興・矢島正見・森田洋司・井出裕久編『病める関係性 ミクロ社会の病理』(社会病理学講座第3巻) 学文社, 日本社会病理学会)	2004.2
	論文(単著)	「DV 加害者をどうするのかという問題がといかけること」(『現代のエスプリ』441号, 至文堂) 43-51頁	2004.3
野田 正人	論文(単著)	「触法少年の変化とその処遇」(『法学セミナー』2003年11月号 日本評論社) 6-9頁	2003.11
	論文(単著)	「児童虐待の増加要因と特徴」(『季刊ひろば』137号 京都教育センター+刊行委員会) 6-10頁	2004.2
東 自由里	論文(単著)	「日系ボーイスカウト運動にみる国家と市民像: リトルトウキョウ高野山三七九隊の行進曲」(大津留(北川)智恵子, 大芝亮編『アメリカのナショナリズムと市民像: グローバル時代の視点から』ミネルヴァ書房) 249-276頁	2003.9
	論文(共著)	「ベルリン: 歴史修復装置としての都市空間」(『立命館産業社会論集』第30巻3号) 1-16頁	2003.12
	国際会議発表 (単独)	“Instilling Patriotism in Public Schools: Identity and Cultural Politics in Japanese Educational Praxis,” International Conference on Civic Research, New Orleans, U. S. A.	2003.11
黄 盛彬	論文(単著)	「2002W杯と日本の自画像, そして韓国という他者」(『マスコミュニケーション研究』第62号) 23-39頁	2003
	論文(単著)	「メディア政策と公共性 古くて新しい課題とは」(『新しい公共性 そのフロンティア』有斐閣) 310-330頁	2003

名 前	種 別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
黄 盛彬	研究ノート (共著)	「研究ノート・2002 W杯とメディア言説 テレビと新聞はW杯をどのように伝えたか(日本編)」(『立命館産業社会論集』第39巻第1号) 161-185頁	2003.6
	論文(単著)	「韓国メディアが描いた『ニッポン』」(『ワールドカップのメディア学』,大修館書店) 147-172頁	2003
	論文(単著)	「韓国編・新世代が主導する「新しい反日」 過去にとらわれないナショナリズムの出現」(『日本はどう報じられているか』新潮社) 187-209頁	2004
	学会発表 (単独)	「2002年W杯とサイバースペース そこまで何があったか」(情報通信学会第20回大会(於：慶応義塾大学三田キャンパス, 2003年6月28日・29日))	2003.6
深井 純一	研究ノート (共編著)	「震災救援の最前線に立った中学生たち(その5) 1925年北但震災における旧制豊岡中学生たちの救援奉仕活動の作文記録を発掘して」(『立命館産業社会論集』第39巻第2号) 83-103頁	2003.9
	作文記録集 (単編著)	『1925年北但馬震災 救援・消火に奔走した少年たち 旧制豊岡中学校604名の作文記録』(産社学会共同研究助成を用いて自主出版) 259頁	2004.3
深澤 敦	書評(単独)	「Note de lecture: Pierre MELANDRI (sous la direction). -Le Welfare State en Amérique du Nord. Paris, L Harmattan, 2000, 171 pages.」(『Le Mouvement social, n 203, L'Association Le Mouvement social avec le concours du Centre National de la Recherche Scientifique et avec la collaboration du Centre d Histoire sociale du XX <sup>e</sup> siècle de l Université Paris I ( Panthéon-Sorbonne )) 115-118頁	2003.4
前田 信彦	論文(共著)	「オランダにおける働き方の多様化とパートタイム労働」(『大原社会問題研究所雑誌』No.535) 1-13頁	2003.6
	論文(単著)	「高齢期における多様な働き方とアンペイド・ワークへの評価 男性定年退職者の分析」(『国立女性教育会館研究紀要』第7号) 21-31頁	2003.8
	その他 (単著)	「パートタイム労働」「派遣労働」「総合職/一般職」「専業主婦の優遇」「ガラスの天井」(秋本美世・大島巖・芝野松次郎・藤村正之・森本佳樹・山縣文治編著『現代社会福祉辞典』有斐閣)	2003.11
	論文(単著)	「仕事と生活の調和に向けて ベルギーのタイムクレジット制度の試み」(『ビジネス・レーバー・トレンド』労働政策研究研修機構) 15-16頁	2003.12
松田 博	研究ノート (単独)	「A. グラムシにおけるサルタン論の生成に関する覚書」(立命館産業社会論集第39巻第1号) 151-160頁	2003.6
	研究ノート (単独)	「A. グラムシと千年王国運動に関する覚書」(立命館産業社会論集第39巻第2号) 105-114頁	2003.9
	研究ノート (単独)	「グラムシにおける「ホモ・ファーベル」問題に関する覚書」(立命館産業社会論集第39巻第3号) 127-136頁	2003.12

名 前	種 別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
松田 亮三	書評(単著)	「舟場正富・齋藤香里著『介護財政の国際的展開 イギリス・ドイツ・日本の現状と課題』」(『海外社会保障研究』145号 国立社会保障・人口問題研究所/国立社会保障・人口問題研究所編) 98-101頁	2003
	論文(単著)	「保健所長の資格要件について 公衆衛生行政組織論からの検討」(『月刊保団連』801号 全国保険医団体連合会) 56-59頁	2003.12
	調査報告(単著)	「DRGプロジェクト 米国カリフォルニア州調査の概要」(『月刊国民医療』200号 国民医療研究所)	2004.3
	論文(単著)	「医療財政政策と公平性」(『経済』91号 新日本出版社) 95-104頁	2003.4
	論文(共著)	「グローバリゼーションと“下から”の保健医療政策 Making health policy from “below” under globalization」(国民医療研究所編『21世紀の医療政策づくり』本の泉社) 97-115頁	2003.11
	論文(単著)	「医療制度改革におけるケース・ミックス分類の導入 スウェーデンと英国の経験」(『月刊国民医療』196号 国民医療研究所) 87-102頁	2003.10
	その他(単著)	「国民保健・医療経済計算についての第3回国際シンポジウムに参加して」(『日本医療経済学会会報』65号 日本医療経済学会) 34-38頁	2003.9
	学会発表(単著)	「第4回国際健康経済学会総会参加記(『同上』) 39-43頁	2003.9
	論文(単著)	「欧州の医療財政の経験から何を学ぶるか」(『同上』) 10-18頁	2003.9
学会発表(共同)	「Equity in Health in Japan: A Descriptive Analysis」(The 4th World Congress of International Health Economics Association)	2003.6	
松葉 正文	論文(単著)	「Civil Society and Contemporary Japanese Economy: Between Civil Society and Corporation-centered Society」(『立命館産業社会論集』第39巻第1号) 29-39頁	2003.6
	覚書(単著)	「日本の戦後史・断想 『昭和天皇』『敗北を抱きしめて』『歴史としての戦後日本』を讀了して」(上・下)(『立命館産業社会論集』第39巻第2号及び第3号) 161-174頁及び205-215頁	2003.9・12
	翻訳(共訳)	ユルゲン・コッカ「歴史的問題および約束としての市民社会」(『思想』2003年9月号 岩波書店 (Jürgen Kocka, Zivilgesellschaft als historisches Problem und Versprechen, in: Manfred Hildermeier, Jürgen Kocka, Christoph Conrad (Hg.), <i>Europäische Zivilgesellschaft in Ost und West. Begriff, Geschichte, Chancen</i> , Campus Verlag, Frankfurt/New York 2000, S. 13-39.)) 34-57頁	2003.9
	翻訳(単訳)	ユルゲン・コッカ「市民社会の歴史的展望」(『立命館産業社会論集』第39巻第4号 (Jürgen Kocka, Zivilgesellschaft in historischer Perspektive, in: <i>Forschungsjournal Neue Soziale Bewegungen</i> , Jg.16, Heft 2, Juni 2003, S. 29-37.)) 223-233頁	2004.3
峰島 厚	著書(共著)	『支援費制度活用のすべて』(全障研出版部) 145頁	2003.4
	著書(共著)	きょうされん生活施設・グループホーム部会編『障害のある人たちの地域生活と暮らしの場の政策提言』(きょうされん発行) 1-20頁	2003.9
	論文(単著)	「障害者福祉における支援費制度の概要と課題」(『民医連医療』2003年5月号, vol. 369, 全日本民主医療機関連合会) 24-28頁	2003.5

名 前	種 別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
峰島 厚	著書(共編著)	「障害児者福祉における支援費制度」(浅倉・峰島編『子どもの福祉と施設養護』改訂版，ミネルヴァ書房) 1-4頁	2003.4
	論文(単著)	「支援費制度と重度・重複障害分野の課題」(『第5回重度・重複障害実践研究交流会報告集』，きょうされん重度重複部会) 6-16頁	2003.5
	論文(単著)	「障害者分野で進行する「脱施設化」施策の動向に関する批判的検討」(『立命館産業社会論集』第39巻2号) 1-18頁	2003.9
	その他(単著)	「障害者支援費制度の現状と課題」(『千里タイムズ』2003年12月5日，第1805号，千里タイムズ)	2003.12
	論文(単著)	「今，実践で大切にしたいこと」(『月刊きょうされんTOMO』No. 286 きょうされん) 12-13頁	2004.2
	調査報告	「障害者(児)入所施設実態調査報告」(NPO法人大阪障害者センター・地域生活支援システム研究会) 概要16頁，資料26頁	2003.9
	著書(単著)	障害者生活支援システム研究会編『希望のもてる「脱施設化」とは利用者・家族の実態・意向調査から』(かもがわ出版) 1-49頁	2003.12
森田 真樹	論文(単著)	「若者の関わり合いと社会病理」(『<方法>としての人間と文化』，ミネルヴァ書房) 169-182頁	2004.3
	学会発表(単独)	「地理教育における文化集団の関係とその取り上げ方」(全国社会科教育学会第52回大会(課題研究発表))	2003.10
	その他(単独)	「2003年度立命館大学学校インターンシッププログラムの成果と課題について」(立命館大学公開研究会「大学生が学校を変える 学校インターンシップの現状と課題」)	2004.1
柳澤 伸司	論文(単著)	「北欧のNIE事情 社会とかかわり市民として育てる媒介に」(『新聞研究』2003年6月号(No.623)) 64-67頁	2003.11
	調査報告(単著)	「(外国新聞の概況) 北欧」(『日本新聞年鑑 03/ 04』) 82-83頁	
山下 高行	論文(単著)	「スポーツとナショナリズム：変化の過程にある関係性」(唯物論研究会編『現在のナショナリズム』(『唯物論研究』第8号)，青木書店) 173-188頁	2003.10
	論文(単著)	「グローバル化と人，文化」(佐藤嘉一編『<方法>としての人間と文化』，ミネルヴァ書房) 183-202頁	2004
	論文(単著)	“World Cup 2002 and Soccer Voluntary Groups as a New Social Movement” in The organizing Committee of the Sendai College of Physical Education (ed.) (Symposium of Sendai College Proceedings of the International Symposium on Soccer and Society) 114-129頁	2003.8
	その他(単著)	「サッカー・ワールドカップ(FIFA)」(西川長夫，大空博，姫岡とし子，夏剛編『グローバル化を読み解く88のキーワード』，平凡社) 141-143頁	2003
	博士論文(単著)	『イギリスの福祉行財政 政府間関係の視点』(法律文化社) 400頁	2003.5

名前	種別	書名, 論文名等, (掲載書名・誌名(巻号), 出版社・発行所), 頁	発行年月
山本 隆	著書(共著)	「ブレア政権下のイギリス福祉改革の現状」「近畿地方における介護と医療の動向」(『現代社会福祉の諸問題 介護保険の現状と財政を中心に』, 晃洋書房) 52-65頁, 150-165頁	2003.5
	論文(単著)	「イギリスの福祉行財政 地方自治体の現状を問う」(『地域福祉情報』2003年7月号, ジャパン通信情報センター) 10-19頁	2003.7
	論文(共著)	「高齢者介護における福祉と医療の関係性について」(『社会科学』第71号, 同志社大学人文科学研究所) 67-90頁	2003.8
	論文(共著)	「地方自治体の福祉行財政構造に関する研究」(『社会科学』第72号, 同志社大学人文科学研究所) 389-426頁	2004.2
吉田 信介	学会発表(共同)	「ガーデンパス現象は日本人英語学習者にもみられるか? オフライン実験による因子分析」(第29回全国英語教育学会南東北研究大会発表要綱 全国英語教育学会) 309-312頁	2003.8
	論文(共著)	「オンラインVOA学習におけるリスニング能力の育成」(『PC Conference 論文集』CIEC(コンピュータ利用教育協議会)) 267-270頁	2003.8
	論文(共著)	「英語リスニング学習におけるPC教室と普通教室の差異」(同上) 69-72頁	2003.8
	論文(共著)	「Incidental/Implicit英語語彙学習ソフト」(『外国語教育メディア学会第43回全国研究大会発表論文集』, 外国語教育メディア学会) 5-8頁	2003.8
	論文(共著)	「オンラインVOAリスニングの実践 音声変化と誤答の類型」(『日本教育工学会第19回全国大会講演論文集』, 日本教育工学会) 55-56頁	2003.10
	論文(単著)	「Developing a Web-Based English Language Learning System for Japanese College Students」(Proceedings for the First International Conference on Multimedia Language Education of APAMALL APAMALL in Taiwan) 465-479頁	2003.12
	シンポジウム(パネリスト)	「英語力プロジェクト: 英語教員, 大学生, 大学院生, 企業人が備えるべき英語力とは」(2003年度大学英語教育学会関西支部春季研究大会 大学英語教育学会)	2003.6
	シンポジウム(パネリスト)	「JACET関西支部「英語力プロジェクト」企画シンポジウム「英語力指標への多面的アプローチ」」(第42回大学英語教育学会全国大会要綱 大学英語教育学会) 211-212頁	2003.9
リム ボン	国際研究会報告	「都市再生とNPO: ニューヨークコモングラウンドの挑戦」(『立命館産業社会論集』39巻4号) 203-221頁	2004.3
	論文(共著)	「ベルリン: 歴史修復装置としての都市空間」(『立命館産業社会論集』39巻3号 ジェイ・クラパーキとの共著) 1-16頁	2003.12
	論文(単著)	「歴史都市の「超再生」 100万都市・京都を事例として」(『日本建築学会大会・都市計画部門研究協議会資料』, 日本建築学会都市計画委員会) 206-211頁	2003.8
	論文(共著)	「被差別部落を拠点とした市民事業の可能性」(『季刊まちづくり』第2号, 北條 誠, 山内政夫 学芸出版社) 27-31頁	2004.3
	論文(単著)	「歴史都市の光と影」(『京都げのむ』No.3) 10-15頁	2003.4

名 前	種 別	書名，論文名等，(掲載書名・誌名(巻号)，出版社・発行所)，頁	発行年月
リム ボン	論文(単著)	「京都のまちづくりと被差別部落のまちづくり」(『被差別部落と京都再生のまちづくり』，NPO法人ネットからすま) 3-26頁	2003.3
和田 武	著書(共編著)	『環境問題資料集成』(全14巻 旬報社)	2003.10
	論文(単著)	「環境先進国の温暖化防止・エネルギー対策」(『歴史地理教育』第653号，歴史教育者協議会) 28-35頁	2003.4
	論文(単著)	「地球温暖化問題と自然エネルギー普及」(『京都工芸繊維大学環境科学センター報・環境』第15号，京都工芸繊維大学環境科学センター) 15-19頁	2003.4
	論文(単著)	「自然エネルギー普及を促進する電力買取補償制度 ドイツ「再生可能エネルギー法」を中心に検証する」(『環境展望』Vol.3，実教出版) 43-68頁	2003.9
	翻訳(単訳)	「デンマーク『エネルギー21』」(『環境問題資料集成』，第4巻『資源・エネルギー・原子力』，旬報社) 205-208頁	2003.10
	翻訳(単訳)	「ドイツ『再生可能エネルギー優先権供与法』」(『環境問題資料集成』，第4巻『資源・エネルギー・原子力』，旬報社) 198-202頁	2003.10
	翻訳(単訳)	「ドイツの新『国家気候保全計画』」(『同上』，第4巻『同上』) 209-214頁	2003.10
	学会発表(単独)	「人文社系大学生へのエネルギー・環境教育」(日本環境教育学会第14回大会)	2003.6
	学会発表(共同)	「インドにおける再生可能エネルギー普及 環境保全的意義と普及対策」(日本環境学会第29回大会)	2003.6
	学会発表(共同)	「インド社会経済の発展における再生可能エネルギー利用の意義と役割について」(同上)	2003.6
	学会発表(単独)	「再生可能エネルギーの普及と開発」(同上)	2003.6
	学会発表(単独)	「欧州の再生可能エネルギー普及と市民の役割」(第22回日本環境会議)	2003.9
	その他(単著)	「環境問題を考える 8．自然エネルギー」(『生活協同組合研究』335号，(財)生協総合研究所) 61-63頁	2003.12
その他(単著)	「未来を考え，今行動を！」(『環境政治の機転 エネルギーとゴミ問題を考える』虹と緑・地方自治政策情報センター) 8-16頁	2004.1	